豊友会本庄支部報告（Web 版）

事務局　吉田　豊

５月２５日令和５年度の総会と昼食懇談会を五州園（市内）で開催しました。来賓と縁ある方と支部会員約７０名が参加、ひと時を楽しみました。

本庄支部は会員３００名を超えますが８０歳以上が約４０％です。
支部の課題は移動手段が段々細くなってきていることです。
会員は本庄市を中心に半径約２０Km位に居住しており、公共交通手段が少なく、自動車運転から離れて来ているので参加する会員が段々限られて来ました。

４年ぶりの総会は本部から土屋理事長、直江理事も参加し、更に昔、本庄工場で勤務経験の会員した方で松代充生様、江中健三様、中野浩司様、田中智英様が懐かしみ、再会を喜び、昔話、昔姿そして現在の様子を交換しました。
瞬時に喜び会う姿は底辺にエーザイ文化が脈々と流れていることを感じました。

一方、役員も高齢になり漫画チックな行動も多くなってきました。

従って今回も集合写真は時間が掛かりそうだから止め、写真撮影をお願いするのも気の毒、見づらい、聞こえずらいにも配慮し出来るだけテーブル中心の懇談に心がけました。

今回は男性４８人女性２９人でした。
土屋理事長からは豊友会の存在意義を再認識して社会性を持った活動を目指し ECL と協同し、面談機会を工夫しようと呼びかけがありました。
ECL 大澤 Gr 長の話は ECL はこの間、脱皮変化を続けた姿の紹介があった。
世界９地区に自社工場を有する ECL の姿には驚きを感じた。
また、コロナ禍での従業員の自宅勤務率は全社平均で約５０％、企業が存続しつづけるには新しい視点での努力が必要との説明があった。

今回は総会資料を作成し手元で総会次第や出席者が分かるようにした。
総会内容は後日「通信１０号」で知らせます。
食事は昼食と言うことでコース料理ではなく、松花堂弁当にして都合で帰る人には持ち帰り弁当を用意した。
飲み物は自由注文としたが酒豪も酒量や飲むお酒も変化していた。
しかし久しぶりに人生時間で多くの共通時間や点を持った人たちは瞬時に溶け

合う交流が出来たようだった。続いて昼食懇談会の場面の幾つかを紹介します。
写真部分を出来るだけ大きくして説明は簡単に・・・敬称は一括表示します。

写真①
名前はお客さん中心にします。
右から北川、大澤、中野、江中さん
皆さん、８０代、元気そう。
写真を見て思い出す人が思い出させる人が多い程幸せなのでしょうね。
皆さん、多いですね。

写真②
昼食開始間もない頃、
左は田中智英さん。
つくば市から車で参加。

写真③
昔話に話が盛り上がっているようです。

写真④
食事中
テーブルでお酌をし合う。

写真⑤
このような大きな食事会は
本当に久しぶりでした。

写真⑥
本庄を懐かしみ遠くから
参加してくれた松代さん。

以上が本庄支部の総会・昼食懇談会の報告です。

本庄支部役員一同